

## 現 状

- 都は、令和3年4月下旬から、地区医師会と保健所、フォローアップセンター（F U C）との連携により、都内全域で、自宅療養者の体調悪化時に速やかに地域の医師等による電話・オンラインや訪問での診療を受けられる体制を構築し、自宅療養者に対する医療支援を実施
- 7月下旬以降、新型コロナウイルス感染症の陽性者数の大幅な増加に伴い、自宅療養者及び本事業での医療支援件数も急増
- 酸素濃縮装置を必要とする患者や入院先が当日に決まらず、自宅で待機する者も発生

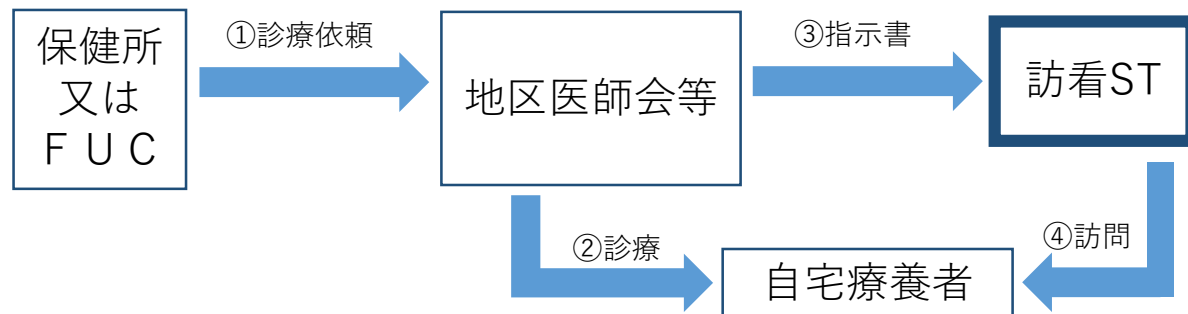
## 課 題

- 酸素濃縮装置を必要とする患者に対し、医師が装着後、日々訪問して状態観察を行う必要があるが、地区医師会や委託業者が毎日往診する体制を確保することは困難
- 8月に入り、毎日約300人以上の入院待機者が生じており、急激な体調悪化が発生するリスクがあることから、待機者への健康観察が必要

訪問看護師と連携し、日々訪問が必要な自宅療養者や入院待機者等の健康観察を行う

## 運用スキーム

（１）自宅療養者への訪問（診療報酬は別途請求可）



（２）入院待機者等への訪問（診療報酬対象外）



◆実施時期 8月中旬より開始

◆委託先 一般社団法人東京都訪問看護ステーション協会  
※地区支部ごとに各地区医師会と調整のうえ当番体制等を構築

◆訪問実績に応じた単価契約（報告書作成経費含む）

◆（１）（２）どちらか一方のみの実施でも可